

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ティン
 コード番号 7217 URL <http://www.tein.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市野 諒
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理課担当) (氏名) 那須 賢司
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 045-810-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,353	—	96	—	69	—	22	—
20年3月期第3四半期	3,903	△2.3	447	1.7	448	△10.1	271	△8.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	3.76	—
20年3月期第3四半期	40.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	3,663	—	2,812	—	76.8	—	514.53	—
20年3月期	4,488	—	3,336	—	74.3	—	502.74	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,812百万円 20年3月期 3,336百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.56	15.56
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.43	8.43

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,586	△12.0	129	△77.8	112	△79.2	45	82.4	7.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 天御香港有限公司) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 6,652,250株 20年3月期 6,652,250株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,185,450株 20年3月期 15,750株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 6,073,479株 20年3月期第3四半期 6,636,500株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページを参照してください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、米国におけるサブプライム問題に端を発した金融不安がリーマンブラザーズの破綻に展開し、世界中に飛び火するとともに100年に一度の金融危機と言われる事態にまでなりました。合わせて円の急激な高騰は、輸出を中心とするわが国の基幹産業に多大なダメージを与え、製造業を始めとする急激な減産の動きが雇用の大幅な調整につながり、派遣切りと称して社会問題化するなど、多くの企業にとって、これまでの経験則が一切通用しないほど景気の悪化は進行いたしました。

内外のカーアフターマーケットにおきましては、欧州地域全体では当第3四半期連結累計期間での需要は辛くも持続し、また中国を中心とするアジア地域でも根強い需要が見られましたが、円高による製品価格の上昇もあり受注は伸び悩みました。また、世界的な新車販売の低迷により、自動車用品についても新規購入や買替えといった新陳代謝が停滞し、業界全般に渡って強い先行き不透明感が蔓延するなど、サスペンション業界においては非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、市場として成長余力のある諸地域への営業活動の一層の強化は元より、引き続き魅力ある製品開発に資するべく試験研究活動にも注力し、また生産性向上などの諸施策を推し進めました。しかしながら景気悪化に伴ない、国内外において嗜好性の高い自動車用高額商品への消費は緊縮傾向が見られ、東ヨーロッパなどを中心とする欧州地域や、一部のその他地域では引き続き順調に推移したものの、用品市場としては全体的に低迷し、販売活動は苦戦を強いられました。さらには、グループ全体で円高による影響を大きく受けることとなりました。なお、在庫の増加傾向に対処するため生産の適正化にも取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結累計期間での効果は限定的でした。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は3,353百万円、経常利益69百万円、四半期純利益22百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ825百万円減少し、3,663百万円となりました。なお、現金及び預金は、前連結会計年度に比べ893百万円減少し、674百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ301百万円減少し、850百万円となりました。これは主として、買掛金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ523百万円減少し、2,812百万円となりました。これは主として、自己株式の取得によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ443百万円減少し、574百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は244百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上70百万円、減価償却費108百万円、売上債権の減少額190百万円、たな卸資産の増加額324百万円、仕入債務の減少額229百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果取得した資金は320百万円となりました。これは主として定期預金の払戻による収入450百万円、有形固定資産の取得による支出131百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は497百万円となりました。これは主として自己株式の取得によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年11月13日に公表いたしました第2四半期決算公表時に為替の動向を含む業界環境の悪化を理由とした下方修正による予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規：天御香港有限公司

新たに設立した天御香港有限公司を連結の範囲に含んでおります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

㈱ティン (7217) 平成21年3月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,272	1,567,949
売掛金	269,083	461,987
商品	163,398	90,614
製品	1,078,544	1,035,292
原材料	373,531	294,732
仕掛品	157,224	112,586
その他	246,331	246,935
貸倒引当金	△334	△949
流動資産合計	2,962,052	3,809,148
固定資産		
有形固定資産	447,631	448,547
無形固定資産		
その他	25,937	23,769
無形固定資産合計	25,937	23,769
投資その他の資産	227,839	207,192
固定資産合計	701,408	679,509
資産合計	3,663,460	4,488,658
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,776	452,754
その他	346,768	405,720
流動負債合計	540,545	858,475
固定負債		
退職給付引当金	119,301	108,614
役員退職慰労引当金	131,609	124,244
その他	59,150	60,850
固定負債合計	310,060	293,708
負債合計	850,606	1,152,184

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	2,876,753	2,957,127
自己株式	△406,271	△11,587
株主資本合計	2,903,784	3,378,843
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△90,929	△42,368
評価・換算差額等合計	△90,929	△42,368
純資産合計	2,812,854	3,336,474
負債純資産合計	3,663,460	4,488,658

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

㈱ティン (7217) 平成21年3月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	3,353,949
売上原価	1,822,578
売上総利益	1,531,370
販売費及び一般管理費	1,435,130
営業利益	96,240
営業外収益	
試作品等売却収入	13,094
その他	15,696
営業外収益合計	28,790
営業外費用	
為替差損	53,276
その他	2,632
営業外費用合計	55,909
経常利益	69,121
特別利益	
固定資産売却益	4,210
特別利益合計	4,210
特別損失	
固定資産売却損	968
固定資産除却損	1,478
特別損失合計	2,447
税金等調整前四半期純利益	70,884
法人税、住民税及び事業税	38,926
法人税等調整額	9,069
法人税等合計	47,995
四半期純利益	22,889

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	70,884
減価償却費	108,183
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,687
為替差損益 (△は益)	36,836
売上債権の増減額 (△は増加)	190,169
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△324,893
仕入債務の増減額 (△は減少)	△229,251
未払費用の増減額 (△は減少)	△44,943
預り金の増減額 (△は減少)	16,685
未払金の増減額 (△は減少)	△49,753
その他	40,166
小計	△175,229
法人税等の支払額	△72,201
その他の収入	3,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	450,000
有形固定資産の取得による支出	△131,894
有形固定資産の売却による収入	30,176
敷金及び保証金の差入による支出	△14,085
その他	△13,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	320,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△394,684
配当金の支払額	△103,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△497,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△443,676
現金及び現金同等物の期首残高	1,017,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	574,272

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売という単一セグメントに属する事業をおこなっているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,393,637	650,412	309,899	3,353,949	—	3,353,949
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	771,686	1,546	24,440	797,673	△797,673	—
計	3,165,324	651,958	334,440	4,151,623	△797,673	3,353,949
営業利益又は営業損失(△)	130,461	20,457	△17,365	133,554	△37,313	96,240

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア・オセアニア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	650,412	501,503	242,044	1,393,960
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,353,949
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.4	15.0	7.2	41.6

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 売上高	3,903,574
II 売上原価	1,998,584
売上総利益	1,904,989
III 販売費及び一般管理費	1,457,145
営業利益	447,844
IV 営業外収益	15,300
V 営業外費用	14,942
経常利益	448,203
VI 特別利益	1,443
VII 特別損失	362
税金等調整前 四半期(当期)純利益	449,284
税金費用	177,640
四半期(当期)純利益	271,643